

令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立恵那高等学校

学校番号 49

I 自己評価

1 学校教育目標	質実剛健・自重自治の伝統精神を基調とし、進取闊達にして知性と情操豊かな民主国家の形成者を育成する。		
2 評価する領域・分野	◇生徒指導・教育相談		
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<p>・項目27「学校は、高校生としてのマナーや社会規範を身に付けさせるための指導を行っている。」について、A（よくあてはまる）、B（ややあてはまる）の合計が保護者86.5%、生徒88.1%である。項目28「学校は、高校生としてふさわしい服装、頭髪等の指導を行っている」について、A、Bの合計が保護者89.0%、生徒84.1%である。この二つの項目は例年、A Bの合計が保護者、生徒とも90%近くあり、関心の高さがうかがえる。今後も保護者の期待に応えるよう、モラル・マナーの向上に向けた啓発活動を継続したい。</p> <p>・項目30「学校は、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。」については、A、Bの合計が保護者62.6%（H30 58.0%、H29 51.6%）で、年々増加している。E（わからない）が32.3%（H30 36.4%、H29 38.5%）で減少傾向にある。一方、生徒はA、B合計82.8%である。保護者の理解は増加しているが、生徒との数値にまだまだ開きがある。いじめの問題は家庭との連携が不可欠であることから、学校はいじめに対する取り組みを家庭（保護者）に理解していただく必要がある。「いじめ」の定義が広がり、「いじめ」事案が増えることが予想されるため家庭との連携はより必要となる。</p>		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇基本的生活習慣の確立と定着、モラル・マナー指導の徹底 ◇生徒の主体性を養うための生徒会活動、部活動及びHR活動の充実 ◇教育相談活動の充実による生徒理解		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・生徒指導部（生徒指導・教育相談係・生徒会係）を中心とし、各学年団（正副担任）、各教科会、外部有識者（スクールカウンセラー・ソーシャルワーカー）との連携強化		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 朝の校門指導、モラルマナーアップ週間の設定、全職員による指導 (2) 生徒による自主的な生徒会及びLHR活動 (3) 教育相談週間の設定、職員研修の充実、各係会（生徒指導・教育相談・学年等）の定期的開催、スクールカウンセラーとの連携	(1) 学校生活における生徒の姿、問題行動の発生状況、地域、保護者からの意見・評価 (2) 学校祭を中心とした生徒会活動や学校独自のLHR活動における生徒の姿と自己評価 (3) 教育相談の実施状況、職員間の課題の情報共有の状況、職員の生徒理解に関わる専門的知識の向上状況		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
・朝の校門指導を毎日実施。モラルマナーアップ週間を4,6,10,12月に実施（全職員による指導、6,10月はPTA役員も参加） ・6月から始まる城陵祭活動及び年2回(10,2月)実施する生徒が企画運営するLHR ・年度当初に実施する、生徒・保護者への悩みアンケート。教育相談週間を4,10月に実施。生徒理解（心理テストの分析）に関わる職員研修を各学年で実施。各学年で支援を必要とする生徒についての理解を深めた。	①職員が連携し生徒の指導に当たり、生徒の姿に於いて改善が見られたか。 ②生徒の自主的かつ活発な活動を支援できたか。 ③職員が必要な情報を共有し、深い生徒理解に基づいた適切な支援・指導ができたか。	(A) B C D (A) B C D A (B) C D	
11 成果課題	○生徒は身だしなみやモラル・マナーを意識した行動ができ、全体に落ち着いた学校生活を送れている。 問題行動の発生件数は3件（対象生徒6名）（H30 2件、H29 4件、H28 2件）であった。 ○定例の会議（学年会、教育相談部会）や教科担当者会議等において、情報を共有し、スクールカウンセラー・ソーシャルワーカーとも連携し、対応するように努めた。		総合評価 A (B) C D

<p>▲不登校および不登校予備軍の生徒を早期に把握し適切に対応することを心がけた。不登校傾向にある生徒の親子間で十分なコミュニケーションがもてず、学校の介入を必要とする事例があった。また、本校では学業の躓きが不登校につながる事例が多い。その現状を踏まえ、授業改善、個別支援、教育相談の充実等、多角的に問題に取り組む必要がある。</p>	
<p>12 来年度に向けての改善方策案 ○研修会を通じて教職員の専門性、指導力を向上させる一方、各分掌が連携し生徒が学校生活に一層積極的に取り組む体制を整え、人間的な成長を促す指導をめざす。 ○不登校および不登校が心配される生徒に対する支援を充実させるための、教育相談体制の構築。（学業の躓き等の早期発見・個別支援）</p>	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和2年1月28日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒がたいへん落ち着いており、街中での評判もよい。 ・保護者からの話を聞いても、不登校また不登校気味の生徒に対する指導がとても丁寧に行われている。また保護者との連携、相談も充実している。 ・
--